

11

2

Sat. 13:30 ~ 17:00

上智大学 四谷キャンパス
中央図書館 8階 L-821

地域の歴史から 建築史まで 何を学ぶのか

● 牧田 義也 氏 (一橋大学)

「協働と敵対性——立石企画の可能性と課題」

● 北條 勝貴 氏 (上智大学)

「負の歴史をめぐる合意形成

——〈余所者〉が問えるもの／問えないもの」

● 総合討論

※ 会場が中央図書館内のため、上智大学のIDカードをお持ちでない方には、エントランスにて、お名前・ご所属・訪問場所 (L-821)・入／出時間をご記入いただくことになります。予めご承知置きください。

※ 当日は、本学の学園祭 (ソフィア祭) の開催時期に当たっております。メイン・ストリート等は混雑が予想されますので、お気を付けてお越しください。

● 主催：上智大学史学会 (お問い合わせ： dhstory@sophia.ac.jp)

● 後援：パブリックヒストリー研究会 ・本フライヤーには、Google map の提供する航空写真を使用しています。

2024 年 10 月 2 日

上智大学史学会 11 月例会ミニ・シンポジウム

「地域の公共性から歴史学を考えなおす

—立石と諏訪におけるパブリック・ヒストリーの試みから—

まだまだ暑い日もありますが、空の青さと爽やかな空気に、ようやく秋の訪れを感じさせる陽気となりました。上智大学史学会では、下記のとおり、11 月の例会を開催します。今回は、12 月の大会に繋がるパブリック・ヒストリーの観点から、ミニ・シンポジウムとしておこないます。万障お繰り合わせのうえご参加ください。

【日時】 2024 年 11 月 2 日（土）13：30～17：00

【会場】 上智大学四谷キャンパス 中央図書館 8 階 L-821

【報告】

牧田義也 氏（一橋大学）

「協働と敵対性—立石企画の可能性と課題—」

北條勝貴 氏（上智大学）

「負の歴史をめぐる合意形成—〈余所者〉が問えるもの／問えないもの—」

総合討論

【趣旨】

2023～2024 年度、歴史学研究会総合部会は、松原宏之氏と牧田義也氏を中心に企画「Doing History in 立石：パブリック・ヒストリーの実験と実践」を組み立て、若手研究者を募って、葛飾区立石でのポリフォニックな協働的歴史実践を試みた。その著しい成果は、2024 年度歴研大会特設部会「パブリックヒストリーをめぐる探究・対話・協働—葛飾区立石における歴史実践—」以降、幾多のイベントを通じて公にされている。この企画が日本の現代歴史学において、エポック・メイキングな役割を果たしていることは間違いなからう。牧田氏は、そののちマイケル・フリッシュ氏（パブリック・ヒストリーの重要概念“Shared Authority”の提唱者）を招聘したシンポジウムを開催・運営し、最新論文では、歴史学とアートとの協働を論じ同分野をリードしている。一方北條は、『パブリック・ヒストリー入門』（菅豊氏との共編）刊行以来各地で地域連携を進めてきたが、今年度は立石企画とも関わりつつ、長野県諏訪郡富士見町に存在した養狐場の歴史を同地の人びとと掘り起こし、定着させてゆく活動（パネル展示・講演会・エクスカーション・ワークショップ）をおこなっており、牧田氏とも各所で協力している。

本例会ではこのような経緯を踏まえ、牧田氏を主要報告者に迎えて北條が援助報告を担い、現状「国外事例の紹介」や「理論の整理」に偏りがちなパブリック・ヒストリーについて、地域での実践経験に即して意見交換をおこなう。親和的な協働だけでなく深刻な対立に至る局面も踏まえ、同活動の課題や可能性を明確にし、現代歴史学そのものの深化に資することを目指す（文責 企画者：北條）。

※ 会場が中央図書館内のため、上智大学の ID カードをお持ちでない方には、エントランスにて、お名前・ご所属・訪問場所（L-821）・入／出時間をご記入いただくことになります。予めご承知置きください。

※ 当日は、本学の学園祭（ソフィア祭）の開催時期に当たっております。メイン・ストリート等は混雑が予想されますので、お気を付けてお越しください。

主催：上智大学史学会、後援：パブリックヒストリー研究会